

**地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会
第 27 回海域活断層評価手法等検討分科会
議事要旨（案）**

1. 日 時 令和 6 年 4 月 26 日（金）13 時 30 分～16 時 30 分
2. 場 所 ウェブ会議による開催
3. 議 題 (1) 日本海南東部（仮称）の海域活断層の長期評価について
 (2) その他
4. 配付資料
 (本資料)
 海活 27-(1) 第 26 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨（案）
 海活 27-(2) 日本海側の海域活断層の長期評価について
 (参考資料)
 海活 27 参考資料 1 日本海南東部（仮称）の海域活断層の長期評価に関する資料
 海活 27 参考資料 2 日本海南東部（仮称）における断層トレース案および断層命名案
 海活 27 参考資料 3 日本海南東部（仮称）の海域活断層の特性表案
 海活 27 参考資料 4-1 近畿－北陸沖海域活断層案及び反射断面（富山湾）（岡村主査資料）
 海活 27 参考資料 4-2 近畿－北陸沖海域活断層案及び反射断面（親不知沖、上越海丘）（岡村主査資料）
 海活 27 参考資料 5 これまでに審議した評価対象断層の反射断面
 海活 27 参考資料 6 日本海南東部（仮称）の海域活断層の評価・公表方針
 海活 27 参考資料 7 能登半島北方沖海底地形図（海上保安庁資料）
 海活 27 参考資料 8 日本海南東部（仮称）の海底地形図
 海活 27 参考資料 9 日本海南東部（仮称）の海底地質図
 海活 27 参考資料 10 日本海南東部（仮称）のブーゲー異常
 海活 27 参考資料 11 気象庁一元化震源による震央分布
 海活 27 参考資料 12 気象庁一元化震源による発震機構解分布
 海活 27 参考資料 13 F-net によるメカニズム解の分布
 海活 27 参考資料 14 日本海南東部（仮称）における日本海地震・津波調査 PJ による断層モデル
5. 出席者
主 査 岡村 行信 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 地質調査総合センター活断層・火山研究部門名誉リサーチャー

委 員	芦 寿一郎	国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
	石山 達也	国立大学法人東京大学地震研究所准教授
	伊藤 弘志	海上保安庁海洋情報部技術・国際課地震調査官
	高橋 成実	国立研究開発法人防災科学技術研究所地震津波火山ネットワーク センター上席研究員 / 国立研究開発法人海洋研究開発機構海域 地震火山部門地震津波予測研究開発センター上席技術研究員
	仲西 理子	国立研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門地震発生帯 研究センター主任研究員
	森川 信之	国立研究開発法人防災科学技術研究所マルチハザードリスク評価 研究部門主任研究員
	山下 幹也	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター地質 情報研究部門資源テクニクス研究グループ主任研究員
事務局	吉田 和久	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震火山室長
	上野 寛	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震調査管理官
	佐藤 壮紀	文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震火山室調査研究企 画官
	岡 岳宏	気象庁地震火山部管理課地震調査連絡係長
	都筑 三千夫	国土地理院測地観測センター火山情報活用推進官

6. 議事要旨

- (1) 第 26 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨(案)を承認した。
- (2) 日本海南東部(仮称)における断層面の下端の深さについて事務局から説明があり、議論した。
- (3) 日本海南東部(仮称)における断層トレース及び断層の特性について検討した。
- (4) 日本海南東部(仮称)の海域活断層の評価及び公表の方針について、事務局から説明を行った。
- (5) 日本海南東部(仮称)の海域活断層の評価について、事務局から説明があり、議論した。

以上